

若葉台小学校新校舎の雨漏りについて

若葉台小学校新校舎体育館の雨漏りについて、令和3年10月27日付けで設計・監理者及び施工業者より調査結果及び校舎全体点検結果報告書が提出された。

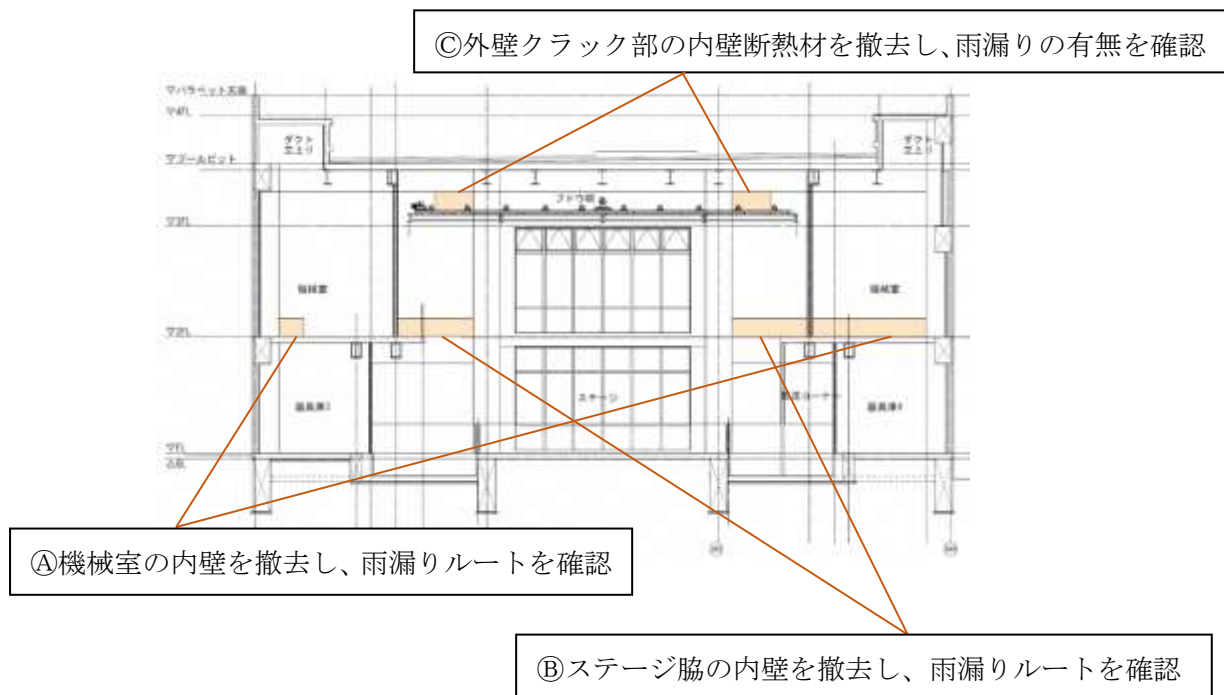
報告書の概要は、次のとおりである。

1 調査日

令和3年10月5日（火）

2 調査内容

【体育館雨漏り原因調査】



【校舎雨漏り調査・全体点検】

- ・ 屋上の調査（ドレイン部・ハト小屋等）
- ・ 中庭の調査（ドレイン部）
- ・ 1階～4階のPS（パイプスペース）、DS（ダクトスペース）等の調査
- ・ 1階ポンプ室、2階機械室の調査
- ・ 校舎外周部の調査

3 調査結果及び原因

【体育館雨漏り原因調査】

①機械室内壁

雨漏り箇所は、2階床レベルに設置されている水平のスリット部分と判明した。
柱際の縦のスリットや壁面上部からの雨漏りは見られなかった。

②ステージ脇の内壁

雨漏り箇所は、2階床レベルに設置されている水平のスリット部分と判明した。
柱際の縦のスリットや壁面上部からの雨漏りは見られなかった。

③外壁クラック部の内壁

内壁には、クラックは確認できず、雨漏りも見られなかった。



- ・ 体育館内部への雨漏り箇所は、コンクリートが打ち継がれている位置で、構造用水平スリット（緩衝材）が設けられている場所（写真の点線部分）と判明した。
- ・ この場所はシーリング材（防水材）の充填により防水処理されているが、外壁面には縦の帯状の凹凸（段差 50 mm）があり、その部分のシーリング材の充填が完全ではなかったことが原因と推測される。
- ・ 柱際の縦スリット部分や壁面上部クラック箇所（現場計測による 0.3 mm以下のひび割れ）については、雨漏りは見られなかった。



【校舎雨漏り調査・全体点検】

- ・ 「雨漏りの恐れのある箇所」の調査と校舎全体の調査を実施した結果、特に問題は見られなかった。

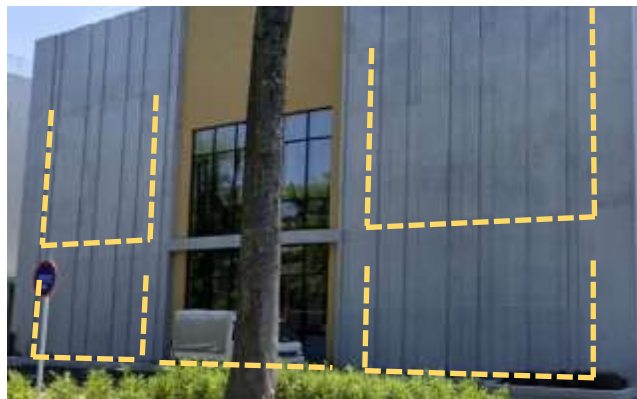
4 体育館雨漏りに対する対策

①～③の STEP に沿って、構造用水平スリット（緩衝材）部分の防水機能を向上させる。

<STEP①>

既存シーリング材（写真の点線部分）を撤去し、その部分に不織布の付いた防水性のあるシートを設置し、その上に改めてシーリング材を充填する。

（今回の調査では、柱際の縦スリット部分からの雨漏りは確認されていないが、同様の対策を実施する。）



<STEP②>

一定期間、経過観察を行う。

<STEP③>

雨水の進入を抑えられたことが確認できた段階で、予防処置として体育館側の内壁（写真の点線部分）にもシーリング材を充填した後、内壁等の復旧工事を実施する。



5 今後の対応等

- ・ 児童の安全面に配慮するとともに、学校運営に支障がないよう補修日程を調整し、補修作業を実施する（令和3年11月中を予定）。
- ・ 保護者や学校運営協議会、近隣自治会へ、雨漏りに係る調査結果及び校舎全体点検結果を周知する。